

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		食品開発科学科			
科目名称	事前・事後指導					授業形態		実習		
科目コード	421110	単位数	1単位	配当学年	4年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岩田 賢士									
授業概要	<p>教育実習は、大学における教育課程の集大成として実施されるものである。今まで学んできた専門的教科や教職課程における教科・科目を通して身に付けた知識・技術や教師として必要な資質を、教育現場で実践し統合する最初の機会である。</p> <p>教育現場では、学習指導・生徒指導・特別活動・クラス経営・部活動・校務分掌等と教員の仕事は多岐に亘るため、事前指導においては、これらの内容について熟知し周到な準備をすることが重要で、特に教育実習生にとって負担の大きい学習指導要案作成、研究授業に向けた準備を重視している。また、事後指導としては、教育実習を振り返り、教員としての自分の資質を反省し改善点を探求し、将来の教師像につなげる物とする。</p> <p>35年間の高校教員としての実践経験を生かし、学生に適切な助言・指導を実施する。</p>									
関連する科目	教育実習・中等教科教育法（農業・理科）・特別活動論等の上に実践する。									
授業の進め方と方法	○一斉授業・・・各講義資料を使って授業を進める。状況に応じてディスカッションをする。○体験発表・・・先輩の教育実習経験談を聴く。○模範授業・・・自分自身の模範授業の実施、先輩もしくは同級生の代表による模範授業の実施。 ※一年半の期間を活用して、教育実習に行く前の準備、教育実習に行つての反省を行い、教師としての資質を向上させる。									
授業計画【第1回】	1 3年生後期 1. オリエンテーション 教育実習の意義と心構えについて知る									
授業計画【第2回】	2. 教育実習の内容について 教育実習に行つた際に、どのような内容を実践するのかを知る									
授業計画【第3回】	3. 教育実習日誌について 教育実習日誌の重要性とその記載方法を知る									
授業計画【第4回】	4. お礼状の書き方 教育実習でお世話になったお礼として、お礼状の書き方を知る。（書式・内容等）									
授業計画【第5回】	5. 事例研究 伝達講習会に参加。4年生の体験談をグループワークを通して知る。									
授業計画【第6回】	6. 模範授業 4年生の模範授業を参観し、授業の在り方について考える。									
授業計画【第7回】	7. 模擬授業① 3年生の中で代表者による模擬授業の実践 その1（黒板だけを使った授業形態）									
授業計画【第8回】	8. 模擬授業② 3年生の中で代表者による模擬授業の実践 その2（黒板と模造紙等を活用した授業形態）									
授業の到達目標	<p>1. 3年生後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度に迫つた教育実習に対する心構えを構築すると共に、それに向けての諸準備ができる。</li> </ul> <p>2. 4年生前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習直前として、教育実習生としての具体的な心構えや振る舞いができる。</li> <li>・学習指導案・教育実習日誌の作成・記載がきちんとしてできる。</li> <li>・社会人としての挨拶・学校並びに先生方に対する礼状が書ける。</li> </ul> <p>3. 4年生後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の教育実習を反省し、将来の教員として何が必要かを考えることができる。</li> <li>・自分の体験談を先輩に分かり易く伝えることができる。</li> </ul>									
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)									

授業時間外の学修 【予習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習に備えて日頃から時間厳守・提出物の厳守・言葉遣い・服装容儀・礼儀作法等を意識して生活する。</li> <li>・規則正しい生活を送ることを心掛け、社会人としての社会生活に支障がないようにしておく。</li> <li>・教育実習に行った際に困らないように、今まで学んだ教養・教職・専門科目の復習をしておく。</li> <li>・長期休業中を利用して、教育実習校に挨拶に行ったり、電話・手紙等を活用し教育実習に必要なことを調整しておく。</li> <li>・お礼状を書くための文章事例を調べておく。</li> <li>・教育実習体験談発表で、後輩に何を伝えるべきか、しっかりと整理をしておく。 ○上記の内容について15時間の学習を行う。</li> <li>・模擬授業の練習等を時間外に実践する。(5時間)</li> </ul>
授業時間外の学修 【復習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習を振り返り、反省点をまとめ整理する。</li> <li>・教員になった時の心構えを身に付ける。</li> <li>・お世話になった先生方にお礼状を出す。</li> <li>・教育実習伝達講習会等で後輩に伝えるべき内容をまとめておく。 ○上記の内容について10時間の学習を行う。</li> </ul>
課題に対する フィードバック	○提出レポートの評価 ○教育実習との対比 ○模擬授業でのコメント
評価方法・基準	<p>①平常点・・・出席の状況や授業中の態度等  ②レポート点・・・課題レポートの提出状況や内容評価  ③発表点・・・各発表の内容・発表態度  ※この科目の成績は教育実習の成績に加味される</p>
テキスト	講義毎に作成した資料 教育実習日誌(南九州大学)
参考書	文部科学省「中学・高等学校学習指導要領」
備考	